

(公財)印旛都市文化財センター

40周年記念企画展

印旛の珍品展

～発掘されたあれやこれ～

(公財)印旛都市文化財センターは、印旛都市内における文化財の研究や埋蔵文化財保護思想の普及、生涯学習への寄与を目的として、昭和59年に設立され今年で40年を迎えました。

今回の企画展では、「印旛の珍品展～発掘されたあれやこれ～」と題しまして、これまで文化財センターが調査した1,400件以上を数える成果の中から、旧石器時代～近世までの個性豊かで珍しい品々“珍品”を厳選して展示します。超大型のナイフ形石器(印西市:東海道遺跡)や丸木舟をはじめとする木製品(匝瑳市:多古田低地遺跡)、奈良二彩碗(酒々井町:尾上木見津遺跡)、一分金(佐倉市:弥勒町遺跡)など、大小さまざまな珍品の数々をお近くでご覧いただき、当時の人々の営みや製作された背景など、想像を膨らませていただければと思います。

この展示がご来場の皆様にとって、埋蔵文化財への興味・関心を深める一助となれば幸いです。

印西市 東海道遺跡

ナイフ形石器(旧石器)



考古資料

公益財団法人
印旛都市文化財センター

酒々井町 尾上木見津遺跡

奈良二彩(奈良・平安)



四街道市 郷野遺跡

分銅型土製品(弥生)



栄町 前原I遺跡

滑石(古墳)



匝瑳市 多古田低地遺跡

櫂(縄文)



佐倉市 弥勒町遺跡

一分金(中・近世)

